

「燃える炭火を積む」

箴言 25:21-22

2019.7.14 HKJCF

1

概観

山上の説教で学んだ「復讐せずに敵を愛する」ことについて、知恵の書、箴言からも学んでみよう。

アウトライン

1. あなたを憎む者 V21
2. パンと水を与える V21
3. 主が報いてくださる V22

2

1. あなたを憎む者 V21

- 1) 自分の足りなさ：自分の行動で嫌な思いをさせている前提。被害者→加害者。
- 2) 憎まれている：怒りと憎しみの違い；怒りを貯めない、貯めさせないこと。
- 3) 罪を認めるために：良い環境が必要＝①無条件の愛 ②神の聖さ ③裁きがない。罪の自覚は、**恵みの体験**の必須条件。
- 4) 仕返さないために：神の主権にゆだねる（箴言 20:22；24:29）；**祝福を分け与える**こと。

3

2. パンと水を与える V21

- 1) 恵みを分かち合う機会：恵みの拡大再生産を意識する（出 23:4-5）。相手を傷つけないだけでなく、**積極的に敵を手伝う**ように。
- 2) 主は見ておられる：主は最終的な裁き主；**自分も相手も裁かれる**お方（箴言 24:17-18）。
- 3) パンと水：豪華な食事やワインではない→最低限の**必需品**；人格としての**尊重**。
- 4) 心の寛大さ：天の神様は物惜しみしない；**気前が良く、豊かに祝福を与えられる**。

4

3. 主が報いてくださる V22

- 1) 頭に燃える炭火を積む：古代エジプトの慣習？燃える炭火＝裁きのシンボル→神様に裁きを任せること。
- 2) 愛の実践：パウロの教え＝「悪に負けず、善をもって悪に打ち勝つ」（ローマ 12:17-21）。
- 3) 悔い改める心：善意を悪意で仕返す時、引き起こされる**神の御業**＝羞恥心。
- 4) 主の報い：主のご介入が必要；人間関係の祝福＝**敵との和解**（箴言 16:7）。

5

適用

- 1) 互いに不完全であると認めるように：感情的に受け入れ合えない時は、**自分も足りないところがあるとわきまえる**ように。
- 2) 反射的に仕返さないように：**苦手な相手**を愛するところまで達成できなくても、相手にされたことを繰り返さないことから始めよう。

6